

2026 年度公衆衛生専門管理栄養士専門研修 開催要領

1 趣 旨

本専門研修は、地域における多様な栄養課題を適切に把握し、自治体施策全般を俯瞰した上で、保健・医療・福祉のみならず、多領域の関係者に働きかけ、横断的かつ戦略的に効果的な栄養改善施策を推進できるスキルセットとマインドセットを有する自治体管理栄養士を育成することを目的とする。

また、研修参加者のうち一定の基準を満たすものに対して、公益社団法人日本栄養士会と一般社団法人日本公衆衛生学会が共同し、公衆衛生専門管理栄養士として認定を行う。

2 開催形式・日時 (2,130 分、22 単位)

	開催形式	日 時
1	事前学習 (eラーニング)	6月1日(月)～11月22日(日)
2	対面研修・前期(集合型)	7月4日(土) 13:00～18:00
		7月5日(日) 9:00～17:00
3	遠隔研修(自身の所属自治体にて実施)	7月6日(月)～11月20日(金)
4	事前学習 (eラーニング)	9月1日(月)～11月22日(日)
5	第85回日本公衆衛生学会総会(対面)	10月29日(木)～31日(土) 予定
	〃 (オンデマンド)	11月中旬～終期末定
6	対面研修・後期(オンライン)	11月21日(土) 13:00～18:00
		11月22日(日) 9:00～17:00

※認定試験の受験には、上記全ての課程の修了が必要となります。

3 会場

- (1) 対面研修(前期)
東京都内(予定)
- (2) 第85回日本公衆衛生学会総会
京王プラザホテル・新宿 NSビル(新宿区)

4 参加要件

以下(1)～(7)の要件全てを満たす方を対象とする。

- (1) 所属自治体においてリーダー的な役割を担う管理栄養士になりたい方
- (2) 多分野、多領域の関係者と連携し、横断的かつ戦略的なスキルを身につけたい方
- (3) 自治体管理栄養士として、健康増進部門に通算5年以上の勤務経験がある方
※研修申込時点において健康増進部門以外の所属である場合も参加可能
※管理栄養士の配置先が、健康増進部門以外の複数の部署にある自治体(主に都道府県)については、異動を経験していることが必要

- (4) 新たな栄養施策に関する予算要求を行ったことがある、あるいは数年内に予算要求をしたい方
- (5) 全日程に参加できること（日本公衆衛生学会は現地参加又はオンデマンド受講も可能）。
- (6) 2026年度に実施する第2回公衆衛生専門管理栄養士認定試験を受験する方（注1）
- (7) プログラム参加時は、自治体（職場）の了解を得ておくことが望ましい。
- (8) 日本栄養士会生涯教育の基本研修の到達度を自己チェックし、到達目標に達していないものは、事前に生涯教育を受けておくこと。

※基本研修のうち「専門職としての役割と倫理綱領」「関連法規」「調査研究」「非常時の緊急体制」については、必ず受講すること（対面研修前期（集合型）にて受講歴確認）

5 専門研修参加費

44,000円（税込）

※令和8年度の専門研修については、研修受講後のレポート作成など、プログラム検証へ一部対応していただくことを要件として、参加費は「半額免除」といたします。

※なお、交通費、宿泊費、日本公衆衛生学会総会参加費（事前参加登録8,000円、現地参加の場合は旅費別途必要）は参加者負担とする。

6 研修内容（2,130分、22単位）（※カリキュラムは一部変更となる場合もあります。）

【事前学習・e-ラーニング】

- (1) 公衆衛生専門管理栄養士専門研修の概要と受講の進め方（30分）

日本栄養士会公衆衛生職域担当理事 諸岡 歩

- (2) 自己実現能力（60分）

大阪公立大学大学院 生活科学研究科 食栄養学分野 教授 由田 克士
公衆衛生専門管理栄養士研修小委員会委員
(赤堀、磯部、永松、森川、諸岡)

- (3) 調査研究・地域診断能力（90分）

大阪公立大学大学院 生活科学研究科 食栄養学分野 教授 由田 克士

- (4) 政策形成・企画発想能力（90分）

日本栄養大学 栄養学部 准教授 久保 彰子

- (5) 施策管理能力（100分）

神奈川県立保健福祉大学 栄養学科長 田中 和美

【対面研修・前期（集合型）】

- (1) 自己実現能力（120分）

大阪公立大学大学院 生活科学研究科 食栄養学分野 教授 由田 克士
公衆衛生専門管理栄養士研修小委員会委員

- (2) 調査研究・地域診断能力（90分）

大阪公立大学大学院 生活科学研究科 食栄養学分野 教授 由田 克士

- (3) 計画策定・進捗管理能力（100分）

(40分) 神奈川県立保健福祉大学 栄養学科長 田中 和美

(60分) 埼玉県三芳町総務課長 池田 康幸

(4) 政策形成・企画発想能力 (270 分)

厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課 栄養指導室長 塩澤 信良
日本栄養大学 栄養学部 准教授 久保 彰子

(5) 組織運営能力・組織管理能力 (60 分)

国立保健医療科学院 生涯健康研究部長 清野富久江

【事前学習・e-ラーニング】

(1) 地域活動の実践・地域づくり能力 (120 分)

大分県東部保健所 所長 藤内 修二

(2) 健康危機管理能力 (90 分)

日本栄養大学 栄養学部 准教授 久保 彰子

(3) 福祉施策「子どもの栄養評価、障害児者の栄養管理」(90 分)

社会福祉法人恩賜財団済生会保健・医療・福祉総合研究所 客員研究員

神奈川県立保健福祉大学地域貢献センター アドバイザー 藤谷 朝実

(4) 栄養・食生活の社会環境の質の向上「健康的な持続可能な食環境づくり」(90 分)

淑徳大学看護栄養学部栄養学科 准教授 坂口 景子

(5) 栄養・食生活の社会環境の質の向上「生活困窮と栄養格差(仮)」(90 分)

神戸大学大学院医学系研究科 社会健康公正学部門 准教授

京都大学大学院医学研究科社会的インパクト評価学講座 特定准教授 西岡 大輔

【第 85 回日本公衆衛生学会 (対面・オンデマンド)】

(1) シンポジウム

(2) 自由集会 ※詳細は未定

【対面研修・後期 (オンライン型)】

(1) 自己実現能力 (60 分)

大阪公立大学大学院 生活科学研究科 食栄養学分野 教授 由田 克士
公衆衛生専門管理栄養士研修小委員会委員

(2) 調査研究・地域診断能力 (90 分)

大阪公立大学大学院 生活科学研究科 食栄養学分野 教授 由田 克士

(3) 政策形成・企画発想能力 (150 分)

日本栄養大学 栄養学部 准教授 久保 彰子

(4) 教育指導能力 (130 分)

神奈川県立保健福祉大学 栄養学科長 田中 和美
日本栄養大学 栄養学部 准教授 久保 彰子

(6) 健康危機管理能力 (240 分)

北海道保健福祉部 技監 石井 安彦
日本栄養大学 栄養学部 准教授 久保 彰子

(7) 意見交換会

7 申込方法

(公社) 日本栄養士会ホームページより申込受付

8 申込締切

2026年 5月 10日 (日)

9 事前課題 (eラーニング) についての注意事項

- (1) 講義動画は、本会が手配する動画配信サービスを利用して閲覧できる形で提供させていただきます。受講期間内であれば、いつでも視聴いただけます。受講期間の変更・延長及び再配信はお受けできかねます。
- (2) お使いのPC等のセキュリティ設定、ネットワーク混雑等の問題により、快適に受講いただけない場合があります。受講者の環境に起因して受講時のトラブルが生じた場合には、本会は責任を負いかねますのでご了承ください。
- (3) 配信するセミナー動画は、受講者のみの視聴を前提としています。受講者以外の方と一緒に視聴されたり、セミナー動画のアドレスを第三者に提供したりすることは厳にお控えください。また、本講義の動画、画像、音声、文書等は著作権法で保護されています。本講義の動画、画像、音声、文書等を著作権者の事前許諾なしに、複製、公衆送信、頒布、改変、他のウェブサイトに掲載するなどの行為は一切禁止します。
- (4) 受講者が「eラーニングによる受講」を利用するために必要な通信機器、ソフトウェア、通信回線の利用料金、その他これらに付随して必要となる経費は、受講者の負担とします。

10 その他

※ 受験資格要件 (注1)

公衆衛生専門管理栄養士の受験資格は次の各号のすべてを満たすこととする。

- (1) 日本国の管理栄養士免許を有し、管理栄養士として優れた人格と見識を備えていること。
- (2) 日本栄養士会及び日本公衆衛生学会の会員 (普通会员) であること。
- (3) 公衆衛生専門管理栄養士専門研修を修了していること。
- (4) 地域における栄養施策の推進に関する実績が2事例以上あること。
- (5) 公衆衛生分野の学術集会・地方会または関連研究会等において、筆頭発表または筆頭論文を過去5年間に1件以上有すること。

※ 認定申請期間 (予定) 2026年 12月 7日 (月) ~21日 (月)

※ 受験等費用 認定審査料 (16,500円)、登録料 (16,500円)